

学校教育 箱根町の幼児学園構想等 について

りの観点も踏まえ、将来的には移転・建て替えも含めて検討していかねばならないと考えている。

4 点目について、箱根関所の復元整備を契機として、より幅広い広報・宣伝活動を実施することにより、多くの観光客の方に箱根関所を訪れていただけるよう努めていくとともに、単に箱根関所の観覧者数の増加のみを図るのではなく、地元の方々と一体化したまちづくりを進めていくことにより、箱根関所に来られた観光客の方々を箱根地域全体へと回遊性を高めていただくことで、地域全体における経済効果を高め、活性化を図っていききたいと考えている。

また、箱根関所とともに、箱根町が誇る歴史的遺産である石畳や杉並木、箱根神社、元箱根石仏・石塔群なども併せて生かし、箱根関所という点を点だけで終わらすことなく点と点で結んだ線として、観光客の方々の回遊性を促進するなどによって、町全体への経済波及効果があるようにしていかなければならないと思っている。

Q 1 仙石原幼児学園の幼保一元化に対する検証について

2 湯本保育園の閉鎖(予定)及び湯本幼稚園の老朽化に伴う湯本地域の幼児学園構想について

3 二ノ平保育園の休園と温泉幼稚園の老朽化に伴う中央幼児学園構想について

4 箱根幼稚園の将来的な考案方について

A 1 点目について、仙石原幼児学園は、幼保合築施設として、平成15年4月に開所し、3年が経過したが、この間平成15年11月に国の構造改革特別区域計画の「箱根町幼保一元化特区」の認定を受け、平成16年4月より3歳児から5歳児の保育園児・幼稚園児の合同保育を開始したものである。

それ以来、県内はもとより、他県からも数多くの視察や問い合わせなどをいただき、新しい就学前教育・保育の一つのあり方を全国に向けて発信

できたと考えている。

なお、当町にとっても、この特区認定により、保育者は保育園・幼稚園の併任となり、同様の研修を受けるなど、職員連携を良好に図ることができ、保育環境の向上に大きく寄与している。

また、同一施設内に保育園と幼稚園があることから、母親が仕事をやめた場合などにおける保育園から幼稚園の異動も、書類上だけで園を移る必要がないため、子どもの精神面における安定が図られている。

さらに、幼稚園児も預かり保育」を利用して時間を延長することができるので、保護者のニーズにも十分対応できる施設であると考えている。

開所した当初は、保育と幼児教育の観点から、難しい面もあったが、3年間いろいろ試行錯誤を重ね、現在の態勢を築いてきたので、幼保一元化については、子どもの利

益を最優先に考えて保育をするという視点で、今後も充実を図っていききたいと考えている。

2 点目について、湯本保育園の経営主体である箱根温泉旅館協同組合から平成21年3月に閉鎖する旨の通知をいただいております。仕事を持つお母さん方にとっては、重大な問題であり、また、湯本幼稚園の老朽化の問題も長い間の懸案となつている。

そこで、学校の統合問題に関わらず取り組んでいかなければならない問題であり、既にある湯本幼児学園構想を基に、議会のご理解とご協力をいただきながら、進めていき

たいと考えている。

3 点目について、二ノ平保育園の休園については、平成17年度の耐震診断結果により、耐震補強工事の必要な施設であることが判明したため、園児の安全を第一に考え、保護者のご協力もいただき、宮城野保育園で保育を行っている。

二ノ平保育園については、当面の間、休園としていく考えであるが、中央幼児学園構想もある中で貴重な提言と受け止めてさせていただき、学校統合問題の進展を視野に入れながら、その実現を図っていききたいと考えている。

4 点目について、箱根幼稚園については、地理的に他の幼稚園・保育園と一緒にすることは難しく、私は1地域に最低一つの文教施設が必要だという基本的な考えを持っており、現行の形で運営することとしたいと思っている。

なお、保育ニーズについては、預かり保育の見直しも図りながら対応し、また、子どもの数が少ないので、他園との交流機会を確保していくことに努めていききたいとも考えている。



仙石原幼児学園